

# かけはし通信 NO.12

## 一年間を振り返って

第10期校友会会長 5班 木戸武宣



昨年4月、畑中さんから会長を引き継いで早1年になろうとしています。総務・企画・広報の各部に、理事として班代表、クラブ代表を配する体制で活動してきました。

1) 今年の校友会は、企画部が新しいアイデアで、12月のミニパーティ&歌ショーと3月の「かっぽれ」が実現しました。10月の紅葉の信州バス旅行は、NHK真田丸を先取りする好企画でした。

一方北浦和協議会でも、両副会長のおかげで、浦和おどり、北協演芸会、ボウリング大会が大いに盛り上がり且つ有意義な行事になりました。

他の期の行事のなかでも、吉武まつこコンサート(11期)、落語観賞会(6期)、歴史講演会(9期)は、参加した人から好評を博しました。来期は、もっと多くの方の参加をお願いしたいと思います。上記は、**出席型**の行事です。

浦和おどり、北協演芸会、連合会芸能発表、さいたまマーチは、**参加型**の行事です。参加することに意義があります。ためらっていないで、一步踏み出しましょう。

今年はイベント数が多くなりましたので、来期はもう少し工夫し、メリハリを付けていきましょう。いい企画には多くの方が参加し、**親睦の輪**が広がります。

2) 総務は、毎回会議の設定に尽力していただきました。今年は、大幅に会議費を節減してくれました。北協行事実行のエンジン役、議事録担当、会計担当など、目に見えないところで貢献していただきました。

3) 「かけはし」をカラーで発行。仕上がりが良くてやっぱりカラーにしてよかったと思いました。今年最後のこの原稿が、目を引きまますように。

4) 今年の10期校友会は、総勢88人でスタートしました。皆さんの期待に応える会運営に心がけていきますので、各班、各クラブで、総人数を確保していただきますようお願いいたします。少数班(5人未満)・少人数クラブが出現した場合、どのように対処すべきかは、次回の理事会で検討します。各班、各クラブの来期のメンバー構成の報告を得てから結論を出す予定です。また**班活動とクラブ活動は、校友会員とする方針**です。

5) 3月2日理事会開催。規約の改正と次期役員候補の検討の予定。  
3月23日総会にて来期役員と規約改正。





## 校友会活動

副会長（総務部長）10班 野口雅央

平成27年度10期校友会副会長として、なんとか大役を果たせる事ができました。これも、会員の皆様のご協力のたまものと深く感謝いたしております。又、役員、理事の皆様のお助けをお借りいたしました事も、つけ加えておきます。10期校友会も丸6年たちました。

今年は各部の皆様のご協力いただき、総務部としては、初めて1年間とうして、総会、集会、理事会の議事録が作成された事です。

後々の10期の宝となるでしょう、総務の皆様にご感謝いたします。

企画部としては、今回初めて歌手の入った歌謡ショーを計画しカラオケと共に皆さまと多いに盛り上がりました。素晴らしい企画を、企画の皆様にご感謝いたします。

広報部としては、お忙しいなかを北協の理事会に出席、同席していただき、連合会、協議会の連絡事項、行事等について、すみやかに、10期のホームページに載せていただき会員の皆様にご案内できた事です。最近ホームページを開く回数も増えた様です。

広報の皆様にご感謝いたします。

来月から、28年度10期校友会も始まります。ぜひ連合会、協議会、校友会の行事予定も速やかにご連絡しますので、積極的にご参加頂けるよう年間予定に入れていただき、楽しく、にぎやかにご参加していただきたいと思っております。



## 平成27年度を振り返って・・・ 総務部次長 1班 岡田 健

平成27年度も2か月を残すこととなりました、これまでを振り返ってみますと、会長・副会長・企画部、広報部と校友会みなさんの間に入って、この校友会がなんとか滞りなく私なりに進めようと理事会・全体会議・総会等における議事作成等資料作り、会場の予約・会場設定などに携わってきました。

今年度特に記憶に残りますのは、木戸会長指導の下、役職の人選が、スムーズに決められたこと、また、昨今は全員参加ということで、総会の議事進行について、各班長さんが輪番制で行う事など、校友会運営に大きく寄与されたと思料いたします。

一方、総務には、会員のみなさんの会費を、予算に従い有効に運用しなければならない大事な役目も担っています。これについては、茂林さんはじめ総務のみなさんのご協力に対し敬意を表します。いま、年度末を控え、3月の理事会、総会に向けて事業報告、会計報告、新年度の会員名簿、事業計画及び規約の改正作りがあります。総務のみなさんよろしく申し上げます。



## 北協演芸会出場への道のり

副会長（演芸担当）3班 長町園枝



あつい夏が終わり、北協の演芸会の準備に入った。2チームのエントリーの依頼があり、会長の提案で、まず、「プロジェクトチーム」を作り、検討の結果大勢の人達を巻き込んで・・・と、いう声に「ダンス」と「歌」に分けて出場と決まった。どうしたらみんなに喜んで貰えるか、私の試行錯誤の日が続いた。

現在、地球上のあちらこちらで、悲惨な出来事が起きている。そんなニュースを聞きながら、如何に自然の大切さ、命の尊さを表現出来ないかと漠然と考えていた。

そうだ・・・テーマは「自然」と名付けようと思った。ダンスの曲は「ビリーヴ」と「花は咲く」が思い浮かんだ。両方共自然が根底にあるからだ。それにステップが易しい。「コスチュームは白に」アイデアが浮かんで来た。「ビリーヴ」は帽子を使って、具体的に動き出した。

まず100円均一の店に帽子を探しに、でも時は遅し在庫がない。それに20ケも仕入れないと・・・。困り果て、娘に相談したら、インターネットで探してくれて、新宿の100円均一の店にあると・・・。だが、取り置きは出来ないと云われ、開店前に着くように朝1番で電車で飛び乗った。丁度20ケあり買う事が出来た。本当にほっとした。

次は「花は咲く」は、東北の大震災の時、歌手の人達が復興を祈り、胸にカーベラの花を持ち、歌い綴っていた事を思い出し、もっと大きな花を作ったらどうかと、手もとにある生地で作らした。いいかもしれないと思ったが、数が多く途中苦戦した。

あとはステップ、毎回皆さんと相談しながら形を作っていたが、フォーメーションを考えると夜寝られない時が何度かあった。最後まで、全員揃っての練習は出来なかったが、本番当日を迎えた。みんなは、どんな気持ちで出場したのだろうか。一つの行事に協力し、自分自身も楽しんでくれたらだろうか。私は、とても楽しい一日だった。

だが、まだ2月に連合の出場が待っている。3人の増員協力を得て、18名で参加する。私自身もう一度気を引き締めて、大きな舞台に全員で手をつないで、大きな希望の花を咲かせたい。



北浦和協議会演芸会出演



## “平成27年度企画部行事を振り返って”

企画部部長 8班 西澤 繁



企画部の最後の行事は3月23日（水）の10期全体会議の後のイベントです。今回は9班の日比野よし江さんの所属している「江戸芸かっぽれグループ」の実演です。我々10期の中間の芸を鑑賞したいと思います。

今年度の企画部行事は6月2日の総会時には旭科学株式会社の小畑正勝氏の講演「私の事業経営」、9月16日の全体会議では講演会：さいたま市役所建設局の栗原技師による「地震に強い家」、そして小生の「日本一の兵」（ひのもといちのつわもの）と題して今年の大河ドラマの真田幸村の講演をさせていただきました。10月27日には研修旅行として真田の里「信州上田城他」に参りました。47名の参加で天候にも恵まれ歴史に触れる楽しい良い一日だったかと思えます。12月22日の全体会議の後のイベントは「千花有黄の歌謡ショーとミニパーティー」を行いました。今回は初めての企画で会員の交流を第一に考えた企画でしたが、皆様それなりに歌って踊って、おしゃべりをして楽しいひと時を過ごされたかと思えます。

1月15日はボーリング大会と新年会でした。ボーリングの選手は27名でしたが応援と新年会参加者は9名で次回はもっと応援が欲しいですね。

今年度の企画部は8名の優秀なスタッフがチームワークを組んで企画し実行したのでいろいろなイベントが出来たのだと思えます。また、会計の茂林和子さん、水谷弘子さんのご協力には感謝申し上げます。来年度は新しいスタッフでより良い企画運営をされますことを祈っております。



「真田幸村」講演会 ↑



↑ 研修旅行「信州上田城」

「地震に強い家」  
講演会 →



ミニパーティ





広報担当を受けて2年目、皆様のご協力を頂き「かけはし通信」「校友会だより」、ホームページ「北浦和10期」と何とか発行を続ける事が出来ました。

72歳で自営の金型製作の仕事をやめ、73歳でシニアユニバーシティに入学、パソコンクラブではじめてパソコンを習い、多くの人のお世話を頂き、ここまでたどり着く事が出来ました。広報部に於いても部の役員さんのご指導ご協力を頂き、カラーの広報誌の発行が出来た事に、原稿のご協力と共に感謝しています。

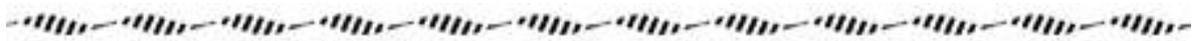
委嘱されている、学校防犯ボランティアリーダーの活動報告書を、教育委員会に提出するのに、字が下手なのでパソコンで作成したい一心でパソコンに取り組んで来て、どうにか出来るようになりました。

どんな組織でも、みんなの御協力を頂けなければ運営出来ません。長に立つ人の会員への配慮、また会員の長に立つ人への協力、お互いの思いやりの心が通じ合う事によって、会の運営が円滑にゆくものと思っています。

それには長として、組織を維持して行く上で、配慮も必要と思いますが、会員にご無理なお願いをすることもあるだろうし、会員もいやな事であっても、配慮して協力する事もあると思います。組織を維持して行く上では、お互いの思い遣りの気持ちが、通じ合うことが大切な事と思っています。

高齢になって行くと共に、頭も体も固くなって来ていますが、会の運営には、会員相互のコミュニケーションが大変大事なことですし、お互いに思い遣りの気持ちで、その努力をして行かねばならないと思っています。

広報部として、「広報誌」や「校友会だより」の配布や、ホームページを含み原稿等のご協力を、皆様からして頂いていますが、今後共よろしくお願い致します。



## 北浦和10期ボーリング大会&新年会



1月15日(金)9:30受付、10:00スタートで10期班対抗ボーリング大会が、浦和スプリングレーンズで、木戸会長の始球式で開催されました。

団体優勝は12班チーム(富永・野本・大山)803点

団体準優勝は6班チーム(池田・大澤・藤木)750点

個人の順位は、1位富永314点、2位野本289点、3位池田278点でした。

終了後ホテル内で、表彰式及び新年会が開かれ、賑やかに楽しい10期新年会でした。企画部の皆さん、関係者の皆さん御苦労さんでした。



## 山ぼうし作品展を終えて

3班 荒山俊江

昨年12月第2回山ぼうし作品展を開催することができました。

お陰様で、チラ見の方まで入れると5日間で、400名近くの方が、私たちのつたない作品を見てくださり、3班一同とても感謝しています。月一回の陶芸も42回を数えました。こんなに長く続いたなんて……。

いつになっても上手にならない我がまま生徒を、忍

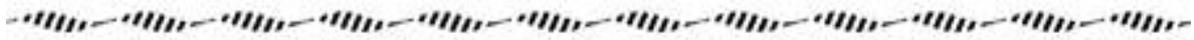
耐深く褒めおだて、やる気にさせたK先生。月の初めに、よい子の皆さんにと、楽しい連絡をくれるH君。面倒な会計を引き受けてくれるNさん。ユニークな作品でびっくりさせてくれるAS君やAK君。EDさんは最近はがき絵まではじめました。Sさんは陶芸の本を買い込んで研究に余念がありません。3時から30分のお茶タイムは、貴重な情報交換の時間で、おやつがいっぱい。

マドンナのSEさんの手作りのお菓子など あ～～ こりややめられません！

(この時間 お客さん歓迎です。美味しいお菓子をお待ちしています)

落ちこぼれの私は、いつも先生に手直ししていただきますが、あら不思議！いいね！に。

いつになったら、上手になるかと思いつつも、楽しい時間を共有する仲間がいてくれることは、なんて幸せなことと感謝しています。班の皆さん、シニアの皆さん 周りの すべての方に あり が と う。



## 北満和校校友会 10期バス旅行(紅葉の信州・真田の上田城を訪ねる旅)

2015年10月27日(火)



## コンサートの楽しみ方

7班 山崎 知世子



私の趣味と言えるかどうかわかりませんが、3年前から、毎月1、2回足を運ぶようになったのがコンサートです。

色々なコンサートありますが、主に吹奏楽と管弦楽で、クラシックと呼ばれるものです。

何か楽器を弾ける訳でもなく、特に知識もない私が、こんな楽しみを持てたのは、チケット代が無用だった事です。

友人に誘われ初めて行った時に、そのからくりがわかりました。クラシックのコンサートで満席なんて普通ありえないと思っていました。

友人の、その友人を紹介され、彼女の努力してチケットを得る方法を知りました。新聞・雑誌のプレゼントコーナーにのっているものにハガキで応募するのです。彼女の書く数は半端ではないとの事。教えてもらった私は、1、2枚です。しかし「よく当選したわネ」と言われる程、確率は良い方です。

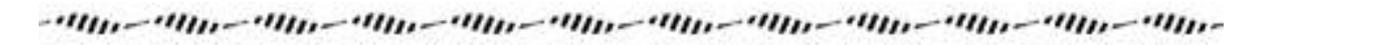
コンサートの当日、早目にホールに行き、送ってもらったハガキをチケットに換えてもらう必要があります。1枚のハガキで4名入場可なんて事もあります。

S不動産後援で夏と冬、年2回、ヴァイオリニストの千住真理子さんがメインで、2、3名のゲストが出演する、オーチャードホールでのコンサート、私が1番楽しみにしているものです。応募者の数がものすごく、倍率を聞いてびっくりしました。

おかげさまで、都内、横浜のホール、あちこち行きました。どこも素晴らしいのには感心しました。公営あり、企業の所有するものあり、そして連日何かをやっているという状況は、うれしい気分です。

ちょっと変わっているという点で、印象深かったのは、演奏は大きな箱型のオルゴールだけ、高野山の僧達による「声明（ショウメイ）」、オペラ歌手によるオペレッタ、警視庁音楽隊カラーガードの女性達が大きな旗を持って踊りまくりました。

来月は、芸大と海上自衛隊の合同演奏会を予定しています。いつも楽しく大満足で帰宅するのですが、クラシックの中味（作曲家、曲名、等々）はすぐ忘れてしまっている状態です。



## 10期バス旅行 信州北国街道「海野宿」





先日、全く考えてもみないドラマチックな話を聞いた。それは以前勤務していた仲間との食事会で、元同僚から現在の生活の様子を聞いたときのことだ。誰も信じられないような内容だからだ。本当にびっくり。定年退職したての男性の話だが、私と一緒に仕事をしていたころには40歳後半で非常に仕事熱心な人物であった記憶が強い。しかし、家庭では一人娘の成長を楽しむ普通のサラリーマンであった、と思う。ドラマの始まりは、この大切な娘さんがインフルエンザ脳症であっけなく死んでしまった時にさかのぼる。大切な娘に先立たれ彼の妻は落胆し「うつ病」になってしまった。職場の同僚も妻の看病と仕事で大変な様子で勤務していたことは知っていた。それから約十余年の歳月が流れ、その間に起こったさまざまな出来事は想像をはるかに超えていた。

まず、伴侶である妻がうつ病から、若年性認知症になり、ますます家庭生活は大変になって行った。そして、思いもよらず認知症の妻が妊娠したのだ。そのことに気が付いたとき、お腹の子供はかなり大きく育っていた。そして出産。産まれてからも自分の子供と認識できないのか、彼の妻は育てることはできなかった。結局、1ヶ月そして3カ月検診も受けることは無く月日は過ぎ、保健師さんの家庭訪問で子供の生活状況が判明した。その際、子供は施設に入れるように説得されたとのことであった。しかし、彼は家庭保育を望み、80歳後半の彼の両親が現在育児をしているそうである。もちろん妻は介護施設に入所、子供の事は認識すら難しそうな様子である。

果たして、その年齢で孫を育てることはできるのだろうか。いや、私にはできそうもないと思う。そのかわいらしい子供さんも、5歳を迎えたそうだが、どのように成長していくのだろうか。この話を聞いた時、呆気にとられこの現実をどのように受け止め、考えれば良いのか、分からなくなった。最後の最後まで人生は何があるか想像はできない。本当に「びっくり」。その日の食事会はこの話題で他のすべてのことはどこかへ消えてしまった。

もう、すでに決まってしまったかに思っていた、私の老後生活も分からないと、思った。どんなドラマが突然やってくるのかもしれない。緊張して一日一日を過ごそう。そして苦しいことや嫌なこと、楽しく嬉しいこと、何があっても平常心でいられるように心掛けたいと思った。



シニア大学北浦和校校友会 平成27年度 第八班活動記録



シニア大学に入学し約6年が経ち、大学から校友会へと移行しました。8班では班の行事は校友会を退会した人たちにも連絡して一緒に活動しております。大学に入学したころには、皆若々しいシニアでしたが、今はかなり年齢も高くなり、行事も近場で行うことが多くなりました。参加者もなかなか全員はそろいません。今年度、実行した行事の主な内容です。天候不順などで中止になったこともありますが、楽しく行うことができました。班員の皆さんも、年齢を重ねるごとに病気やケガなどで参加できなくなるように思います。健康に気を付けて過ごしたいと思います。そして細々でも継続してほしいと願っています。八班のみなさんご苦労様でした。

月 日・内 容	参加数	感 想 等
4月12日(日) 西新井大師・都市公園でのお花見と食事	6名	架線故障による電車の遅れで、待ち合わせから帰宅まで、交通が気になる一日でした。お花見には少し遅い時期でしたが、たくさん歩いて楽しかったです。
6月27日(土) 横浜散策		雨で中止
8月30日(日) 夕方からさいたま市桜区 桜環境センター	6名	入浴後、食事会さいたま市桜環境センター 余熱体験施設にてリラックス
10月18日(日) 南与野で食事会	7名	和食レストランで食事その後、お茶を飲みながらの歓談
12月8日(火) スーパー銭湯「湯屋敷 孝楽」	5名	北浦和駅近くの銭湯。リラックス食事・お湯もなかなか好し、入浴後食事会
2月28日(日) 鎌倉散策・次年度班長決め		北鎌倉から鎌倉駅まで梅の花を見ながら散策予定



## よろんじま 与論島へ行ってきました！

9班 伊藤 昭子

離島への移住を夢見、これまで数々の島への観光と下見を繰り返してきました。役場を訪れ、病院を回り、図書館に立ち寄り、スーパーを見て回る。そして、不動産屋さん

に情報を貰う。移住された方々にもお話を伺い、少しずつ現実のものとしてきました。そして、とうとう昨年末、与論島へ行ってきました。

この島がどこにあるのか、意外に知られていないようです。鹿児島県南方、有名な種子島、屋久島。奄美大島、徳之島、沖永良部島、その次が与論です。沖縄本島はもう目の前！珊瑚の環礁に守られた、周囲23km、人口5500人の小さな美しい島です。マラソン好きの方は、ご存知かもしれません。毎年3月に、与論マラソンがあり、島を1周するとハーフ、2周するとフルマラソンと、判りやすい島です。

この島には、計画を立てると、何かしら障害が起き、なかなか行けませんでした。介護や怪我。台風が近づいて、行けるけれど帰れそうにないe t c . . 無念のキャンセル続きでした。今回も、直前に自転車で転倒し、肋骨を痛め駄目かと思いましたが、「これ位、なんだ！」の気迫と根性で、くしゃみや咳をするたびに、痛みに呻きながら、行ってきました。季節外れ（下見にはベスト）の南の島は、風も強く、天気も不安定。真っ白な砂浜には、誰もいない。陸ヤドカリの足跡だけが続いています。海はコーラルブルー・・・波の音だけ・・・

島の中は1時間くらい歩いても、誰とも会わない。夜、外に食事に出る時、タクシーがなければ、1時間近くも歩く。片道！帰りもタクシーが出ていれば、歩く！往復2時間・・・いくら飲んでも食べ過ぎても大丈夫。真っ暗な海岸沿いの道をフラフラヨロヨロ、倒れて寝込んで、ハブはいないので、風邪を引くだけ！手を上げれば、地元の方が乗せてくれます。ただ、車が通らない・・・静かな島の素の表情を見てきました。今年は、2週間～1ヶ月位の滞在経験をしようと考えています。旅では見えないいろいろを知り、夢で終わるとしても、実現に向かって、更に一步踏み出す年にしようと思います。

↓ ミニパーティ12月22日 ↗



北協演芸会11月24日 ↓





今月の活動は部長が数カ月前より予約をしていました、板橋区舟渡にある”第一硝子”の工場見学です。(小中のガラスびんの生産)

見学は午後の予約なので、浮間舟戸駅近くのベーカリーカフェでランチをし、8名で工場に向かいました。(見学は最大受入れ人数は10名です)

会議室に通され、工場の説明を受けました。見学には髪の毛など落とさない様に不織布で出来たキャップ、その上にヘルメットをかぶり、手には軍手、作業服を着用、足には靴バーをしていよいよ工場へ。

最初は、カレット工場。家庭などから分別収集された空きビン砕いてガラスびんの原料になるカレットに加工。次はガラスびん工場。石灰石・ソーダ灰・けい砂などをカレットと混ぜ合わせ溶解窯で溶解しガラスを作ります。溶かしたガラスの塊を金型に流し込みびんの形になります。除々に冷やしガラスびんの出来上がりです。

色々な検査をしたびんはベルトに乗って流れていきます。流れているびんを女性が椅子に座り、”じいっと”見つめています。目視の検査です。40分交代だそうです、大変な仕事だなあと思いました。男性には向いていない作業だそうです。女性が活躍していました。

以上で工場見学は終了。所要時間は1時間半でした。出入口のショーケースに、この工場で生産しているガラスびんの商品が飾ってありました。化粧品・医薬品・調味料・文具等々です。控室に戻りお土産に小びんに入った調味料セットをいただきました。私達もガラスびんのリサイクルに協力しましょう。びんの中味は取り除き洗ってから出して下さいと、工場の方のお話でした。

## 浦和おどい (平成27年7月12日)参加



# 文化祭芸能発表会

平成 28 年 2 月 21 日 (日)

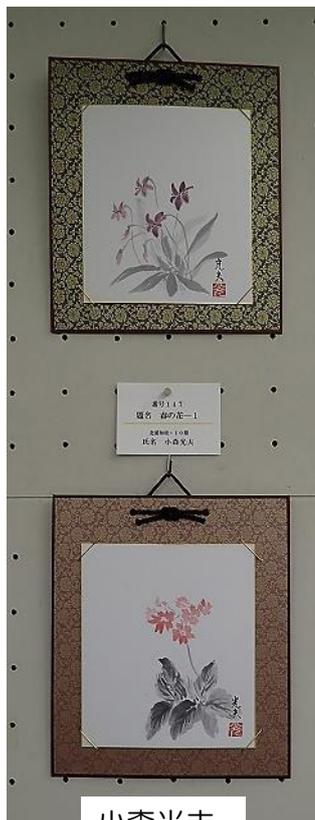
さいたま市文化センター大ホールに於いて  
シニアユニバーシティ校友会連合会の  
「芸能発表会」に 10 期からレクレーション  
ダンスに出演しました。



# 文化祭作品展



作品展入口



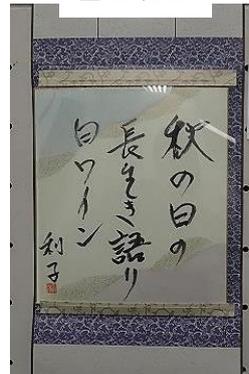
小森光夫

栗城信代



本郷芳子

富田利子



小椋京子



富田利子





## 編集後記

今年は皆様のご協力で2回も念願のカラー印刷が出来ますことに感謝いたします。文章を書く事は全く才能なしの私ですが、趣味の写真とパソコンで参加できて嬉しい1年でした。写真は長年公民館の写真クラブに所属していますが、「ピントが甘い」写真しか取れないのがず〜と悩みですが。パソコンは、夫がパソコンに弱いので、暇な私に習わせて夫が使う時すぐ使えるよう魂胆で1992年MS-DOSシステムで内蔵メモリー64Kb 増設メモリー8Mbからです。

池田さんの几帳面で真面目な編集に感動。専ら拙い写真と画像加工とパソコンの使い方のお手伝いでした。池田さん・石井さんに自由にさせていただき感謝の1年でした。お世話になりました。 広報部編集委員(12班) 片岡 恭子 

昨年末の全員集会と「歌謡ショウ&ミニパーティ」、今年初めの「10期ボーリング大会と新年会」校友会活動の楽しい時を経て、「かけはし通信」もますます充実した内容になってきました。

「かけはし通信 NO.11号」からカラー化し、編集も一段と高度化、写真やスポット画像を取り込み原稿を見やすく読み易い記事に仕上げています。

私は、編集の過程を横で見ながら、感心したり驚いたり、戦力としてはあまり役立ちませんが、この「かけはし通信」が校友会活動になくはならない文書であることは間違いないと確信しています。 広報部編集委員(7班) 石井 正雄 

「かけはし通信 NO.12」北浦和校広報誌として、今年度2回目のカラー印刷発行出来ました事に、投稿者をはじめ、ご協力頂きました校友会の皆様には厚く御礼申し上げます。

前号は全各班、全各クラブに投稿をお願いし、全班、全クラブの御協力を頂きましたが、12号は自由投稿にして、校友会全体の活動を掲載して行く方針で、編集会議で編集してまいりました。

会長・副会長・総務次長・企画部長の役員の皆様にはご多用の中、投稿のご協力を頂き有難うございました。また自由投稿にご協力頂きました皆様にも広報部員一同重ねて、御礼申し上げます。まだ未熟で至らない点も多くありますが、広報部役員一同精一杯頑張ってきたつもりです。

この広報誌が校友会の思い出として、記憶に残って頂ければ幸いです。

広報部編集委員(6班) 池田 善四郎 

